

令和元年度 近鉄四日市駅周辺整備基本計画策定業務委託 公募型プロポーザル 審査結果について

四日市市では、2027年東京-名古屋間のリニア中央新幹線の開通による経済効果を最大限に享受し、四日市市が将来にわたり、中部圏域で存在感を発揮し、中核的役割を果たしていくために、近鉄四日市駅の交通結節機能を高めるとともに、駅周辺区域の歩行空間を含む空間の高質化を図る取り組みを進めています。

今回、平成30年度に策定した「近鉄四日市駅周辺等整備基本構想」や交通処理の検討経緯等を踏まえ、四日市市の玄関口に相応しい駅前空間の整備に向けて、エリア全体の一体的な空間形成が図られるよう空間デザインの方針を取りまとめるとともに、今後の各施設における具体的な計画を示す予備設計、概略検討等を行い、基本計画として取りまとめる業務を委託する候補者を選定するため、公募型プロポーザルを実施しました。

その結果、下記のとおり、受託候補者及び次点候補者を選定しましたので公表します。

記

1 審査結果

受託候補者： 株式会社日建設計シビル・日建設計共同体

次点候補者： 中央コンサルタンツ株式会社三重事務所

2 審査委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

委員長	有賀 隆	早稲田大学 理工学術院 創造理工学研究科 教授
委員	松本 幸正	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授
委員	谷田 真	名城大学 理工学部 建築学科 准教授
委員	伴 光	四日市市都市整備部次長 兼 都市計画課長
委員	伊藤 勝美	四日市市政策推進部次長 兼 政策推進課長
委員	村田 孝幸	四日市市都市整備部市街地整備・公園課長
委員	伊藤 利之	四日市市都市整備部営繕工務課長

3 審査日時

第1次審査：令和元年9月19日(木) 15時00分～17時15分(出席委員7名)

第2次審査：令和元年10月2日(水) 10時30分～15時00分(出席委員6名,代理出席1名)

4 審査経緯

- (1) 令和元年 7 月 12 日に実施要領等を公表するとともに公募を行いました。
- (2) 7 月 19 日に事前説明会を開催し、翌 8 月 6 日までの参加申込書類提出期間に、3 者から参加申込書類を受理しました。
- (3) 参加申出者の参加資格要件について確認した結果、3 者とも要件を満たしていたため、9 月 9 日までの企画提案書類等提出期間に、3 者から企画提案書類を受理しました。

※企画提案書提出順

- ・ 株式会社日建設計シビル・日建設計共同体
 - ・ 中央コンサルタンツ株式会社三重事務所
 - ・ 全日本コンサルタント株式会社中部支店
- (4) 第 1 次審査として、3 者の参加申込書類及び企画提案書類等について審査並びに審議を実施し、得点評価を行った結果、全 3 者を第 2 次審査対象者としました。
 - (5) 第 2 次審査として、第 2 次審査対象者 3 者（全て匿名）による 15 分以内のプレゼンテーションと 20 分程度の質疑応答を実施し、企画提案内容や質疑への対応等について審査並びに審議を実施し、得点評価を行いました。
 - (6) その集計を行った結果、第 1 次審査の得点と第 2 次審査の得点を合計した総合得点が最も高かった株式会社日建設計シビル・日建設計共同体を本件業務委託の受託候補者、次に総合得点が高かった中央コンサルタンツ株式会社三重事務所を次点候補者とするについて、審査委員会において確認を行い、各候補者の選定に至りました。

5 審査基準

本件プロポーザルの審査にあたっては、審査委員会が別に定めた「令和元年度 近鉄四日市駅周辺整備基本計画策定業務委託 公募型プロポーザル評価項目、評価基準及び配点」に従って、厳正な審査を実施しました。

本審査基準については、次のとおり示します。

**令和元年度 近鉄四日市駅周辺整備基本計画策定業務委託 公募型プロポーザル
評価項目、評価基準及び配点**

(第1次審査)

評価項目			評価基準	配点	
大項目	中項目	小項目		評価点	合計 (配点率)
参加申込書類 についての評価	事業者要件	技術者数	設計チームにおける専門技術職員数を評価する ・一級建築士 ・技術士 【総合技術監理部門】 【建設部門】(「都市及び地方計画」、「道路」、「建設環境」) ・ランドスケープアーキテクト(RLA)	10	20 【10%】
		業務実績	同種・類似業務実績の内容・規模、件数等	10	
	配置技術者の 経験及び能力	管理技術者	実績業務の内容・規模、件数等	5	10 【5%】
			業務の繁忙度(手持ち業務の件数、内容等)	5	
		主任技術者	実績業務の内容・規模、件数等	5	10 【5%】
			業務の繁忙度(手持ち業務の件数、内容等)	5	
企画提案書類 についての評価	技術力要件	業務内容に係る 企画提案	業務への理解度、実施方針の妥当性について	15	35 【17.5%】
			業務の実施体制について	15	
			業務実施工程について	5	
	特定テーマ①	提案における的確性、独創性・創造性、実現性について 評価する	60	120 【60%】	
			60		
	見積り価格	提案内容に対する経費の妥当性を評価する	5	5 【2.5%】	
	合 計				200

(注)・評価結果の得点については、小項目ごとにおける各審査委員の平均点とし、小数点第1位を四捨五入する。
 ・なお、各審査における評価結果の合計得点が同点の場合や、第1次審査と第2次審査の総合得点が同点の場合は、以下の順序により、その項目の点数が高い事業者を選定する。
 【企画提案書類についての評価】⇒【ヒアリングによる評価の特定テーマ①、②の合計】
 ⇒【取り組み姿勢、専門性・コミュニケーションの合計】⇒【技術者数、業務実績の合計】
 ⇒【管理技術者、主任技術者の合計】⇒【見積り価格】

(第2次審査)

評価項目			評価基準	配点		様式
大項目	中項目	小項目		評価点	合計 (配点率)	
ヒアリングによる評価	技術力要件	特定テーマ①	提案の的確性(重点ポイント)について評価する	15	100 【67%】	様式8
			提案の的確性(プロセスにおける)について評価する	10		
			提案の獨創性、創造性について評価する	15		
			提案の実現性について評価する	10		
		特定テーマ②	提案の的確性(重点ポイント)について評価する	15		
			提案の的確性(プロセスにおける)について評価する	10		
			提案の獨創性、創造性について評価する	15		
			提案の実現性について評価する	10		
		取り組み姿勢	企画提案に対する補足説明の的確性および取り組み意欲について評価する	30	50 【33%】	—
		専門性 コミュニケーション	質問を通した専門知識及び応答における明確性を評価する	20		
合計				150	150 【100%】	

(注)・評価結果の得点については、小項目ごとにおける各審査委員の平均点とし、小数点第1位を四捨五入する。
 ・なお、各審査における評価結果の合計得点が同点の場合や、第1次審査と第2次審査の総合得点が同点の場合は、以下の順序により、その項目の点数が高い事業者を選定する。
 【企画提案書類についての評価】⇒【ヒアリングによる評価の特定テーマ①、②の合計】
 ⇒【取り組み姿勢、専門性・コミュニケーションの合計】⇒【技術者数、業務実績の合計】
 ⇒【管理技術者、主任技術者の合計】⇒【見積り価格】

6 選考理由

参加意向申出書は3者から提出され、本業務委託と同種又は類似の業務実績を多数有する者からの応募となりました。

企画提案においては、業務実施の基本方針及び業務の実施体制に加え、以下に示す2つの特定テーマについて提案を求めました。

【特定テーマ】

- ① バス専用ターミナルと並木空間の設計方針に関する提案
- ② 歩行者用デッキの設計方針(仕様・検討手順)等に関する提案

各参加者からは、特定テーマの意図や先に策定した基本構想を踏まえながら、各者が有する知見や業務実績により培ったノウハウ等を組み合わせ、それぞれの特徴を盛り込んだ提案がなされました。

中でも、選定した受託候補者「株式会社日建設計シビル・日建設計共同体」（以下、「受託候補者」）及び次点候補者「中央コンサルタンツ株式会社三重事務所」については、基本構想を踏まえ、四日市市の玄関口として魅力的な空間形成が期待できる提案であったことから、その提案能力に対して高い評価としました。

特定テーマに対する方針では、それぞれ、エリアデザインや、まちとのつながり、回遊動線、待合空間等を考慮した独創的または創造的なターミナルやデッキを提案する能力があると評価しました。

これらの提案に対する実現性を検討するプロセスに関して疑問が残る部分が見られたものの、ヒアリングにおいて的確な補足説明や、質疑に対する明確な応答については、受託候補者の方がより優れていました。

また、基本計画の策定を進める上での検討プロセスについては、市民や関係者等から外部意見を取り込む姿勢が見られた中で、受託候補者の方がより高い評価となりました。

これらに加えて、他の評価項目も含めた総合的な評価に基づき、株式会社日建設計シビル・日建設計共同体を受託候補者として選定しました。

7 最後に

本プロポーザルへの参加者が5者以内であったことから、上記3者ともに第1次審査及び第2次審査を実施し、各審査における委員の評価及び得点を確認し、受託候補者及び次点候補者の選定に至りました。

7人の委員におかれましては、それぞれの専門分野から、これまでの経験と知識を結集して審査を行い、その結果、近鉄四日市駅周辺整備において重大な役割を担うにふさわしい基本計画策定者を選定することができたと考えています。

今後、本業務により基本計画が策定され、事業が進んでいくこととなりますが、四日市市の玄関口に相応しい駅前空間となる「近鉄四日市駅周辺整備」が成功裏に無事完了されることを心より祈念申し上げます。

最後に、本プロポーザルに対して真摯に取り組まれ、貴重な時間と労力を費やし御参加いただいた提案者の皆様に敬意を表すとともに、審査に多大なるご協力とご尽力をいただいた選定委員各位並びに関係者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

令和元年10月25日

令和元年度 近鉄四日市駅周辺整備基本計画策定業務委託 公募型プロポーザル審査委員会
委員長 有賀 隆